



6月になった初日の今日、たいようぐみは斐川の大黒山に登ってきました。竹林の間をにぎやかに歩きながら上へ上へと向かいました。頂上からの絶景に感激したり、草木で遊んだり、木苺を食べたり、飛行機の離陸を見たり…と、大満足の様子でした。頂上で食べたおにぎりは格別でしたよ。

また4月のはじめには、大きいクラス子どもたちは、今年植樹したキンカンの木からもぎ取って食べ、先日は園庭のびわが実り、採りたてのびわを食べました。今月は芋の苗植えも予定しています。『食べることは生きること』と言われる。食べることが幸せに感じるような食体験を大切にしていきたいと思えます。



6月の予定

1日	たいようぐみ 大黒山登山	13日～ 15日	身体測定の週 誕生会
3日	半日保育士（つき） ひかりクリーンデイ	16日	FunFunEnglish
6日～ 7日	個人面談（つき） 節句会 （ちまき作り：たいよう） 出雲西高校実習（～10日）	22日 23日	歯科検診 9：00～ シグナルさん （交通安全教室：3歳児以上）
8日	半日保育士（たいよう）	24日	集金日
9日	お弁当の日（芋苗植え：たいよう・つき）	25日	保護者会環境整備の日 （つき・そら・しずく）
10日	半日保育士（しずく）	27日	避難訓練



夏祭りについて

今年度も昨年度と同じやり方で開催します。

7月8日（金）午前、保育園内で園児だけで夏祭りを行い、同日の夕方からは、たいようぐみの太鼓演奏披露など、たいようぐみ親子を対象にした夏祭りを行います。（たいようぐみにはおたよりを配付します）

子どもの心の育て方1 ～子育てハッピーアドバイスより～ 〈反抗は自立のサイン、イタズラは自発性が育ってきた証拠〉

子どもは、まず、お母さんに完全に依存した状態で生まれ、そこで十分な安心感をもたらします。安心感を十分に得た子どもは外界への関心が生まれ、ハイハイした子どもはいろいろなものに興味を持ち、ひっくり返したり、口に入れたりします。これが自立のはじまりです。つまり、自立というのは、親にとってはとても手のかかる状態になることです。すぐに散らかす、口に何でも物を入れる、大切な紙を破る、とでも目が離せません。しかし、こういう時の子どもの目は輝いています。2・3歳になると第一反抗期が現れます。このころが指示したり命令したりすると「いやだす！！」と言います。こちらが手をかかろうとすると「自分でやる！！」と言います。ますます手がかかろうとします。もううしろさうとさらに行動はエスカレートし、大きなものを壊す。危ないことをうしろさうとさらに行動はエスカレートし、大きなものを壊す。しかし、反抗は自立のサインです。大人から見れば困った行動でも、子どもなりに理由があるのです。それを大人の都合で叱ったり止めさせたり、遊びやイタズラを過剰に規制したり禁止したりするのは子どもの自立心を奪うことになります。「もっと○○しなさい」「みんなと仲良く遊びなさい」などと指示や命令を繰り返していると、それはもう、遊びではなく仕事になってしまいます。遊びに満ちていたはずの子どもの世界が、指示され命令される「仕事」ばかりになっていませんか。それが子どものやる気をそぎ、子どもは遊ぶのが苦痛になるのです。大人自身が思い切り遊んで楽しむことを実践してみてください。そして、子どものペースを尊重してあげてください。

また、子どもが不安になって後ろを振り返ったら、そこにはちゃんと親がいて、大丈夫だよとうなずいて見守っていてあげてください。

園長：筆

イチローの名言

小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところに行くただ一つの道だと思っています。

イチロー選手はビールのコマーシャル撮影のために出雲ドームに来ておられましたね。やっぱりかっこいいですね。



- ①半日保育士の時にお配りした保護者会資料の『保護者さんの参加 行事』日にちの訂正について（にじぐみ・そらぐみさん対象）日にちに誤りがありましたので訂正をお願いいたします。正しくは以下のとおりです。
 - ・夏祭りについては左に記したとおりです
 - ・きらきら発表会 12月3日（土）
 - ・親子活動 2月4日（土）
- ②集金・児童票などの提出書類について
集金や個人情報の書かれた書類は、お子さんのカバンに入れたままにせず、必ず職員に手渡していただきますようお願いいたします。
- ③水筒の飲み物について

“水”または“お茶”を持ってきてください。氷の入った冷たい飲み物は、まだ胃腸の弱い子どもにとっては、胃腸が冷えるだけでなく、食欲がわかなくなったり、必要量の水分が摂りにくくなり、夏バテになることもあります。子どもの水分補給は常温にしましょう。